

- 1. 組織の見直し**
- 2. 連携等の取組み**

1. 組織の見直し



【ポイント】

▶ 「知事政策局」

総合計画をはじめとした政策の推進に向けた体制の再構築

▶ 「交通政策局」

広域鉄道ネットワークの維持に向けた体制強化

▶ 「企業局」

電気事業の企画立案、発電制御を一体的に行う組織への体制強化

①総合計画をはじめとした政策の推進に向けた体制の再構築

▶ 総合計画を着実に推進する体制の構築

- ・総合計画の策定に伴い、ウェルビーイング推進課と総合計画課を統合
- ・ブランディング推進課を成長戦略課と同じ企画室に移管し、関係人口の拡大を更に推進していく。

▶ 人口未来課を政策推進室に移管

- ・少子化対策に取り組む人口未来課を政策推進室に移管し、少子化、人口減少に直結するジェンダー・ギャップ対策との施策の連携強化を図る。

②広域鉄道ネットワークの維持に向けた体制強化

- **広域交通・新幹線政策課に「富山地鉄鉄道線担当」を新設**
 - ・富山地方鉄道鉄道線の再構築事業に向け、**新たな検討組織を立ち上げ**、スピード感をもって議論を進めるため、体制を強化
- **城端線・氷見線再構築推進課に「事業主体変更担当」を新設**
 - ・R8年度からの本格的な施設整備工事や**「あいの風とやま鉄道」への事業主体の変更**を着実に推進

③電気事業の企画立案、発電制御を一体的に 行う組織への体制強化

➤ 「電気事業室」を新設

- ・電力市場や県民ニーズに対応した効率的・効果的な売電方法や発電計画を一体的に企画立案・実施するため、電気課と発電制御所を統合し、「電気事業室」を新設
- ・室内に、売電・発電計画の企画立案や発電所の制御・運用に取り組む「発電企画課」、発電所等の改修・維持管理等を行う「発電施設課」、水力発電のリプレースや地熱資源開発等を推進する「新エネルギー開発課」を設置

2. 連携等の取組み



2. 連携等の取組み

- (1) 官民連携・民間活力の活用
- (2) 市町村との連携
- (3) 県民目線での政策形成・執行、
県民参画による行政の推進

(1) 官民連携・民間活力の活用



▶ 富山空港の民間事業者による運営開始

- ・富山空港に混合型コンセッションを導入し、民間事業者が滑走路等とターミナルビル施設を一体運営
- ・令和8年4月コンセッション事業開始

▶ 県有施設へのネーミングライツの導入

- ・収入を施設運営やサービスの維持向上に充てるとともに、スポンサー企業との連携・協働を図るため、4月にリニューアルオープン予定の四季防災館に、**県有施設では初となるネーミングライツを導入**

▶ 指定管理者制度における賃金・物価スライドの導入

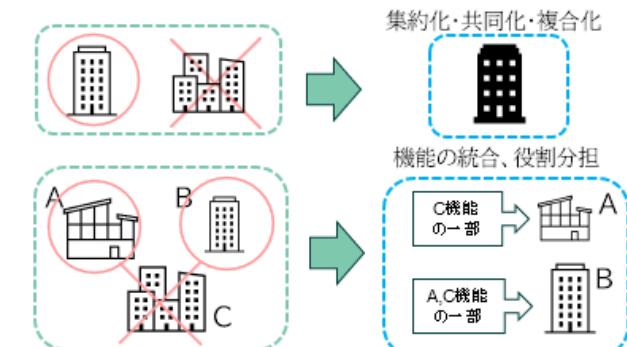
- ・指定管理料の算定に賃金・物価スライド制度を導入し、近年の物価上昇や人件費高騰などの**急激な社会経済情勢の変化**に迅速かつ的確に対応

(2) 市町村との連携



▶ 県民に必要な行政サービスを市町村と連携し、 提供し続けるための検討・取組み

- ・人口減少社会に適応するため、持続可能な行政サービスのあり方を、県民目線・未来志向で引き続き検討
- ・土木インフラについては、ワーキンググループを設置し、道路・橋を中心に「持続可能なインフラマネジメント方針」を議論
- ・公共施設については、県公共施設等総合管理方針を改訂し、削減目標等を明記

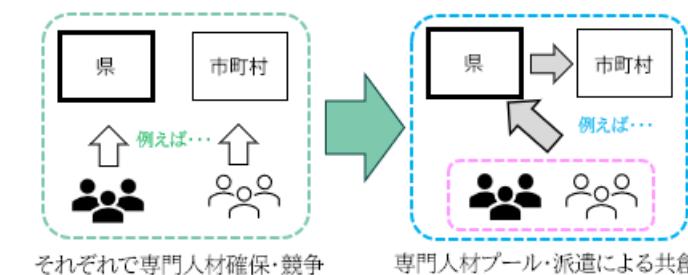
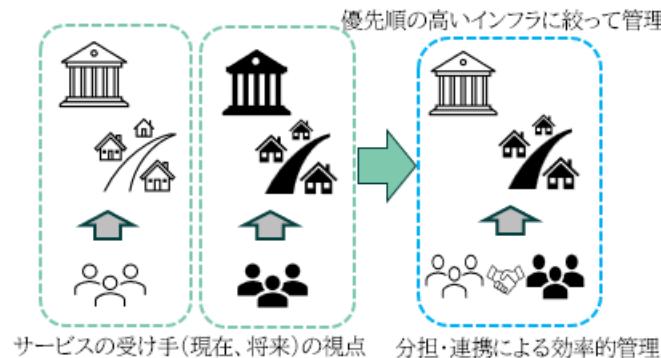


(2) 市町村との連携



- ・県内初の「群マネ（地域インフラ群再生戦略マネジメント）」を試行
- ・県農業職と市町村職員との協働・働き方改革を試行
- ・市町村のDXの取組みを進め、県民の利便性向上を図るため、県において、市町村に巡回配置する専門的なデジタル人材を確保
- ・富山県内で行政サービスの担い手として働く魅力を効果的にアピールするため、県・市町村合同で採用説明会を開催

※群マネ…複数自治体のインフラや複数分野のインフラを「群」として捉え、効率的・効果的にマネジメントしていく取組み



(3) 県民目線での政策形成・執行、県民参画による行政の推進



➤ 「幸せ人口1000万実現会議」の開催

- ・現行の富山県成長戦略会議を改編し、**幸せ人口1000万実現会議を設置**。県政の重点分野の方向性について新たな視点から助言。

幸せ人口1000万実現会議

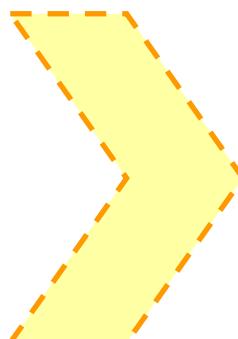
7月 定例開催
重点分野の方向性

必要に応じて適宜開催

秋「しあわせる。富山」
斬新なアイデア

県の施策

- ・各種計画
- ・取組み
- ・予算（事業化）
- などに反映



(3) 県民目線での政策形成・執行、県民参画による行政の推進



▶ ウェルビーイング指標を活用した総合計画に基づくPDCAサイクルの確立

- ・総合計画に位置付けた12の政策分野ごとに、ウェルビーイング指標を活用した施策設計図（※）による政策評価の仕組みを導入し、総合計画に基づく施策のPDCAサイクルを確立



※施策設計図とは？

施策の論理的な構造を明示する「ロジックモデル」をベースに、ウェルビーイングの要素を取り入れたもの



予算編成(政策立案)時だけでなく、政策評価の段階でも施策設計図を活用し、同様の様式で効率的に
PDCAを推進

➤ 伝える広報のさらなる推進

- ・ターゲットに応じた効果的な広報の推進
- ・職員研修や伝える予算の事前協議による「サーキンの法則」
(作る3：届ける6：分析する1) の徹底を推進
- ・デジタル化による県民の利便性向上等を図るため、県発行
刊行物の電子化(アーカイブ化)を促進
 - ▷県刊行物センターは廃止(R8.3末)

(3) 県民目線での政策形成・執行、県民参画による行政の推進



▶ 令和7年度官民協働事業レビューによる見直し(14事業)

拡充	1事業（デジポックとやま実証実験プロジェクト事業）
一部改善	9事業（農業用水路安全対策普及事業、とやま中小企業人材育成力レッジ 等）
抜本的改善	1事業（とやま型スマート農業推進事業）
廃止	3事業（とやま建設女子's魅力ある職場づくり支援事業、 福祉・介護人材マッチング強化事業 等）

▶ 令和8年度官民協働事業レビューの実施

- 令和7年度と同様に、県民の皆さんができるだけ事業を理解しやすいよう実施方法を工夫

<主な見直しポイント>

- 新たに策定した「富山県総合計画-幸せ人口1000万～ウェルビーアイヌク先進地域、富山～を目指して」の「12の政策分野」からテーマを設定し、テーマごとに選定した事業の説明・議論を実施